

開陽 330°

目次

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1 看護部長挨拶 | 4-5 Nurse Station News |
| 2 特集 耳鼻咽喉科 | 6 栄養相談おしながき |
| 3 病院のいちにち
アメニティセットのおしらせ | 検査室のご案内
病院雑学クイズ
編集後記 |

表紙写真

看護師 片山 貴夫

「初夏を迎える頃に生きる
術を学ぶ子狐たち」

看護部長挨拶

看護師も高齢化・・・・・・・・

登 紀代美

皆さまこんにちは。早いものでこの病院が新築移転してから25年目を迎えています。私もこの病院と共に、25年間地域の皆さんに支えていただきながらの日々を送ってきました。

中でも、COVID-19 感染症は、町民の皆様のご協力がなければ乗り越えることができませんでした。そして、当院の職員、委託業者の方々、本当にお疲れ様でした。5類になったとはいえ、これからも感染対策、高齢者のワクチン接種など感染予防は続けて参ります。

さて当院には看護師、准看護師、助産師、看護助手と147名（6/30 現在）の看護職員が勤務しております。

全国の就業看護職員の平均年齢は44歳を超え、看護師の9人に1人が60歳以上です。看護職員が年齢を重ねても、その経験を生かして就業継続のできるように職場環境を整え、将来の看護師不足に備えていきたいと考えています。日本はこれから超高齢化社会となり、就業する看護師の平均年齢も高くなっていきます。ちなみに当院は41歳と全国平均より若いですが……。

もちろん若い職員もいつでも募集しています。どの世代の看護職員も皆で力を合わせ、地域住民のみなさんが安心して受診できる病院を目指していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

耳鼻咽喉科外来

OTORHINOLARYNGOLOGY

MESSAGE



2023年4月より赴任いたしました、耳鼻咽喉科の溝口兼司です。
耳鼻科常勤医赴任は約2年ぶりとなります。外来出張体制では対応できなかった入院治療や手術にも対応可能となりましたので、地域の皆様の手助けとなれるように診療を行ってゆきたいと思っております。
どうぞよろしくお願いいたします。

診察している病気

意外と幅広く、様々な領域にわたっています。

花粉症や鼻炎などのアレルギーや、中耳炎・副鼻腔炎・扁桃炎・咽頭炎など耳・鼻・のどの炎症が多いですが、めまい・耳鳴りや難聴、首のしこりやリンパ節の腫脹、甲状腺や鼻・のどの腫瘍（できもの）、顔面神経麻痺などを診察しておりますので、これらの病気で悩まれている場合はぜひお越しください。



内視鏡カメラ・モニター ↑

補聴器外来

聞こえのご相談も、お待ちしております。

難聴で補聴器を考えたいという患者さんには、月に1回の補聴器外来もあります。
まずは外来にお越しいただき、聞こえの検査を行って相談できますので、補聴器を検討・ご希望の方もぜひお越しください。



↑ 診察台

検査・入院・手術

必要に応じて検査を行います。

専門性の高い検査も、実施可能です。

- ・咽喉頭の内視鏡検査（ファイバーによるカメラ）
- ・画像検査（エコー・X線・CT・MRIなど）
- ・血液検査（炎症やアレルギーを調べます）
- ・聴力検査（聞こえの検査）
- ・眼振検査・重心動揺計検査（めまいの検査）

釧路にいかなくともはつけられた病気も、

対応できるようにになりました。

- ・めまいや扁桃炎、突発性難聴や顔面神経麻痺に対する点滴治療
- ・扁桃炎や扁桃肥大に対する扁桃腺（口蓋扁桃）・アデノイドの摘出
- ・中耳炎に対する鼓膜換気チューブの挿入
- ・副鼻腔炎に対する内視鏡手術

診療体制

	月	火	水	木	金
A M	溝口	溝口	溝口	手術日	溝口/出張医
P M	溝口	手術日	溝口(予約)	手術日/ (オンライン診療)	検査日

病院の いちにち

第3回 技師 地域医療相談係
ソーシャルワーカー
社会福祉士・精神保健福祉士 木村紅葉



「病院のいちにち」第3回はこの広報誌の編集部署でもあります、地域医療相談係(医療相談室)ソーシャルワーカーの1日をご紹介します。

私たちソーシャルワーカーは、病気やケガに関連して起こる様々な生活上の困りごとの相談に応じる専門職です。



患者さん、ご家族の負担軽減のため、

「アメニティセット」 の提供を開始しました



ほとんど手ぶらでも入院できます

- ・日用品 (歯ブラシ・ティッシュ等)
 - ・タオル類
 - ・紙おむつ 他 レンタルできます
- 入院準備、洗濯の負担を軽減でき、常に清潔なタオル類を使用していただけます

助産師は
ピンクです

NURSE STATION NEWS

日中は
好んで
いろいろです

他の色の
看護師も
います

助産師が
行う
妊婦検診

助産師 外来を 始めました

助産師外来は、リスクのない正常な妊婦さん（当院で出産予定の28～31週の妊婦）に対し、「助産師」が行う妊婦健診です。完全予約制で待ち時間が短く、普段の妊婦健診より時間をかけて（1回約45分）赤ちゃんの様子をじっくりみながら、ベテランの助産師と普段は医師に相談しづらいことや気がかりなこと、普段の生活のことや不安など、ゆっくりお話することができます。もちろん、通常の妊婦健診と同様に尿検査、体重、血圧測定、胎児エコーなどの検査も行います。

現在は金曜日の午前中と木曜日の午後に行っていますが、今後は少しずつ助産師外来の回数を拡大していきます。妊婦さんやご家族が安心して出産・育児が行えるよう、スタッフ一同、より一層のサポートを行ってまいります。よろしくお願いいたします。

ベテランの助産師が、時間をかけてゆっくりお話をうかがいます

看護部よりお知らせです



看護師の ユニフォームが 新しくなりました



グリーンも
あるよ



病棟で夜勤の
看護師は
ブルーを着て
います

医師を含めた4名は必要な研修を修了し、看護師と薬剤師はNST 専門療法士という資格を取得し活動しています。

栄養管理は栄養士の仕事では？と思う方もいると思いますが、多職種でお互いの専門知識を活用しながら取り組むことで、患者さんにとってよりよい栄養管理が提供できます。現在は主に、入院患者さんからの栄養（点滴、経管栄養、食事）についての相談を受け、対応しています。稼働したばかりでまだまだ認知度も低いですが、NSTの関わる分野は多岐に渡るので、こつこつ活動を継続し、院内の他部門とも協力して定着させていけたらと思っています。


医師・看護師・
薬剤師・管理栄養士による

NST 栄養サポートチーム ができました



患者さんの栄養状態の改善・治療効果の向上・
合併症の予防のため活動しています



第3回  夏メニューの紹介です

管理栄養士 井上麻理絵

当院では、水曜日の昼食は「麺の日」となっております。夏の間（6月～8月）はこの「麺の日」に冷たい麺メニューを提供しています。そのほかにも夏野菜を使用したメニューなど、

入院中でも季節感を患者さんに感じていただけるような献立作りに取り組んでいます。食事制限などの都合により、献立は異なる場合がありますので、ご了承ください。



天ざるセット



夏野菜カレー



冷やし中華

検査室のご案内

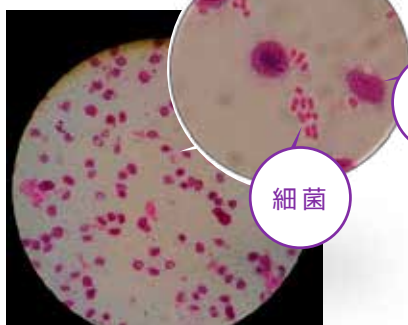
検査室 室長 田中順一



部門紹介① 細菌検査部門

細菌検査部門では、感染症の原因となる病原微生物を検査しています。

ヒトは免疫により病原微生物(細菌・真菌・ウイルス)から身を守っています。免疫の機能が低下したとき、免疫を上回る病原微生物の侵入があったとき感染症を引き起こします。感染源となる病原微生物を特定することで、効果的な治療を行うことができます。



白血球

細菌

↑血液培養より検出された細菌

↓培地に発育した細菌



2023.9予定

検査室内に採血スペースを設置します



Hospital Question

病院の雑学クイズ

第II問

1年間の救急車受け入れ件数は何件でしょう？

650 件 です (令和4年度)

内半数以上の407件が時間外・夜間休日の対応です。なかには「交通手段がない」などの緊急性が低いケースも散見されます。また、救急搬送だけではなく、急を要さない救急外来の受診、いわゆる「コンビニ受診」も増加しております。

当院の救急外来は当直医や看護師はもちろんのこと、検査技師や放射線技師・薬剤師などが待機し緊急の呼び出しに備えております。地域医療を守り、存続していくためにも引き続き救急車や救急外来の適正利用を心がけていただきますよう、お願いいたします。